

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
 今定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。
 なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



ももがききたい

財源確保



佐藤 太信 議員

Q 督促状、催告書費用削減のため業者に委託を
A 効果が期待されるため検討したい

議員 債権管理情報を共有し、全庁的に債権管理を推進する「債権管理適正化推進委員会」の取り組みや成果を市ホームページで公開を。

財務部長 公開する。

議員 平成29年度の収入未済額が市税、国民健康保険税合わせて約21億円。債権管理徴収組織の一元化を。

財務部長 検討すべき課題も多いため、今後の研究課題とする。

議員 年間、督促状が約8万件、催告書が約3万件。郵送料や人件費等の費用削減のため、業者に委託を。

財務部長 委託により職員を徴収業務に充てた場合の効果が期待されるため、検討したい。

市職員障害者雇用採用条件の見直しを

議員 市職員障害者雇用採用条件の見直しを。

- 戸田市の障害者雇用(変更点)**
- 3条件の撤廃
 - 自力による通勤(2017年より撤廃)
 - 介助なしでの職務遂行
 - 活字印刷による筆記試験に対応
 - 環境整備
 - 庁舎のバリアフリー化
 - 各種研修の実施によりノウハウを習得
 - 障害当事者の声を聞く

▲市職員障害者雇用採用条件の変更点

一般質問

議員 多子世帯への支援を
議員 県の「3キユー子育てチケット」に市独自の上乗せを。
子ども青少年部長 実施に向けて検討する。



▲ゲリラ豪雨により冠水した中町2丁目付近(9月18日)

一般質問

大雨・台風被害

十川 拓也 議員

Q 土のう管理・活用や、浸水後の消毒の状況は
A 年3回巡回、管理。消毒を実施

議員 9月18日大雨、台風24号での被害は。

危機管理監 9月18日大雨では、市内最大雨量48・5ミリの激しい降雨で大規模な道路冠水が発生。道路冠水は44カ所、うち市内通行止め3カ所、床上浸水3件、床下浸水2件あった。台風24号では、倒木通行止め、屋根破損、窓破損等が発生。住宅家屋被害6件、店舗等被害16件、倒木24件、この中で罹災証明書の発行は5件あった。

議員 被害が目立った戸田駅、戸田公園駅、新曽南郵便局周辺の対応と土のうの管理と浸水後の消毒の状況は。また、どのような場合に消毒を行っているのか。

上下水道部長 戸田公園駅、新曽南郵便局の周辺地域では、現在の浸水状況を分析した上で、さまざまな対策を組み合わせながら対応していく。戸田駅周辺を含む新曽地区では、土地区画整理事業の雨水排水計画を考慮しながら、雨水

函渠未整備箇所での対策を推進していく。

危機管理監 土のうステーションは、委託業者より年3回巡回、補充管理を実施し、現在、市内17カ所に広く配置し100袋を保管。9月1日〜10月19日間に629袋の利用を確認。保管は2年以上経過及び劣化したものは確認時に入れ替え。消毒は、浸水被害家屋においては消毒を実施。道路冠水時は、道路清掃後、適時消毒を行っている。

環境経済部長 市民の要望に応じた薬品を散布する等の方法で実施。
議員 浸水後の消毒対応への基準を設けることを要望する。



▲冠水した戸田市消防本部付近(9月18日)

冠水対策

金野 桃子 議員

Q 最重要課題であり、早急な対策を
A さらになる対策に取り組み

議員 今年、市内複数箇所でも冠水した。戸田市は地勢上、荒川に向けて地盤が低くなっており、上戸田や新曽や笹目など地盤に差がある場所で被害が集中している。冠水対策は最重要課題であり、新市長の下、早急な対策を。

上下水道部長 戸田駅、戸田公園駅、新曽北大通り、笹目根木橋公園周辺等、地域ごとに要因が異なるが、冠水・浸水被害の軽減を図るよう、さらなる対策に取り組んでいく。その中で、県の河川協議や、国の補助金獲得に努めていく。

議員 南稜高校前のアンダーパス(地下道)に冠水注意の道路標示を。
都市整備部長 有効な手段であり、設置を検討する。

北戸田駅の防犯対策を

議員 北戸田駅の不審者発生件数が県内ワースト1位との報道がある。防犯灯の増設や見回りの強化を。

市民生活部長 引き続き見回りを強化する。

その他の質問

Q 結婚・出産等の記念樹の見直しを。
A 研究課題とする。